

議事録

1 会議の名称

令和8年度光市自殺対策協議会

2 開催日時

令和8年8月 20 日(木)13 時 30 分から 14 時 30 分まで

3 開催場所

あいぱーく光 健診ホール

4 出席人数

委員 18 人中 11 名

出席者:河村委員、山本(聖)委員、吉岡委員、椎木委員、山本(雅)委員、

河本委員、板垣委員、山本(浩)委員、中村(雅)委員、木下委員、長井委員 計 11 名

事務局:讃井部長、清水課長、田邊、廣森、利本、清木 計 6 名

欠席者:武居委員、中村(恵)委員、藤井委員、岩政委員、小西委員、中原委員、鹿間委員

5 公開・非公開の別

公開

6 会議の議事録(要旨)

(1)開会

(2)副会長あいさつ

(3)委員自己紹介

(4)会長選出

(5)会長あいさつ

(6)議事

議事1 第2次光市自殺対策計画について(報告)

議事2 第2次光市自殺対策計画【概要版】について

【質疑応答・委員意見】なし

議事3 光市自殺対策計画進捗状況について

【質疑応答・委員意見】なし

議事4 改正自殺対策基本法及びこどもの自殺対策に関する協議会について

【質疑応答・委員意見】

(委員)ゲートキーパー養成講座のプログラム内容とは。

(事務局)自殺の現状に加え、ゲートキーパーの役割である気づく・傾聴する・つなぐ・見守る
の内容となっており、講座時間は約 45 分～1 時間程度。実施詳細内容について

は、対象者へ合わせて構成される。

(委員)ゲートキーパー養成講座について、講座の実施対象は団体に限るのか。

(事務局)健康増進課では「出前講座」として実施しており、出前講座の要件としては5人以上での申込みと周知している。

(委員)ひきこもり支援事業について、総合相談窓口を設けたのは非常に良い取り組みと思う。

(委員)相談に来られたらいいが、来られない方をどう救うかが問題であり難しいと感じる。
解決策としては、長い期間、啓発活動を地道にすることが必要かと思う。実施・啓発を継続してほしい。

(委員)青少年の自殺対策として SOS ミニレターの対応をしているが、現代のこどもたちにとって、手紙を書いたり電話で相談をするより、スマホ内で呟いたり発言・相談をするのが多く、スマホ内でのできごとは公になりにくい面があると感じる。

(委員)就労意欲のある方への支援をしている。ひきこもり支援をするにあたり、就労に向くケースがあれば相談をつないでいただきたい。

(委員)どうしたら事業を全員に届けられるか、が課題かと思う。本当に困っている人に伝える方法が重要だと思う。届かない人へ届ける、本当に困っている人に届けるためには、やはり継続することが一つだと思う。

(委員)「健康経営」を推進している。ストレスチェックの実施もあり、従業員の悩みの解消になればと思う。

(委員)独居高齢者を訪問して地域の中で助け合い生活する取り組みをしている。

(委員)令和 7 年中の光市における緊急出動は 2,942 件で、そのうち自損行為は 14 件であった。

(委員)ひきこもりに関する相談やひきこもり支援家族教室を実施しており、事業が重なる部分もあるため連携を図っていきたい。光市におけるひきこもり支援の実績を見ると、周りの人が気づいて支援につながることもあるのだと思った。今後は自治会長、民生児童委員などにも周知を行うと、地域をよく知っている人からの相談がもっと増えるのではないかな。

(7)福祉保健部長あいさつ

(8)閉会